

業に対し、開発戦略のコンサルティングをはじめ、治験の実施を支援する。現在、顧客の多くはタイガーマッドを通じて受託したケースだとい

欧米や中国の主要企業18社はステージアップによるケースではなく、単発で受けたケースと明かした上で「これまでの実績に対する評価が上がって受託につながったのではないかと。中国で症例登録が進まなかったケースにおいて日本を進めることができたという実績が生き

たのではないかと話す。続けて「中国企業からの相談は増加傾向にあり、日本での開発にステータスを感じている企業も増えている印象もある。最近では、中国企業から直接相

談を受けるケースも出てきている」と、今後の事業展開に手応えをうかがわせる。同社の基本方針は、優れた製品を早期に日本に導入し、海外には開発の橋渡しをすることで、新薬開発に、医療の発展に

寄与すること。そしてインバウンドだけでなく、アジア圏に向けて進出する日本の製薬企業、医療機器メーカーに対しても、国際開発の窓口となって提案、サポートを行うことを目指す。

成毛氏は、「中国市場は大きく、国際的にも魅力の高い市場だ。タイガーマッドの持つネットワーク、ノウハウと実績を生かし、ニーズに応える支援が可能であり、アジア治験は任せてほしい」とメッセージを送る。

# 中国・アジア治験の支援獲得へ

## イメージングCRO事業は継続

マイクロンは、昨年7月に中国のグローバルCROであるタイガーマッドグループに入ったことで、既存のイメージングCRO事業は継続しつつも、新たに治験のインバウンド・アウトバウンドの支援にも乗り出した。タイガーマッドを通じて中国企業による日本での治験の支援(インバウンド)の相談が相次いでいる一方、今年には日本企業の中国・アジアでの治験の支援(アウトバウンド)の獲得にも注力する。タイガーマッド日本法人、その傘下のグループ企業と連携して営業し、案件の獲得に取り組む方針だ。

### マイクロン



大平氏

タイガーマッドは、アジア太平洋、欧米、南米、アフリカにまたがる180超の拠点と1万人超の従業員からなるグローバルCRO。マイクロンはCTなどの医用画像を活用した臨床研究・試験を支援するイメージングCRO事業が主力。タイガーマッドが、中国以外でのイメージングCRO機能の獲得、日本からの中国・アジア市場への顧客の取り込みを図る中、マイクロンは特に中国企業の日本参入の需要を取り込みたいと考えていた。その両社の意向

が一致し、昨年7月にマイクロンは親会社であるCEホールディングスを通じ株式の過半数をタイガーマッドに譲渡。組織上は日本法人「タイガーマッドジャパン」の傘下に入った。マイクロンはタイガーマッドグループに入ったことで、CRO事業を国際化する契機となった。

早速、新薬開発が活発化している中国のバイオベンチャーの日本での臨床試験を受託した。同社執行役員の大平直行氏は、「そのほか中国企業からの相談案件が続々と増えている。タイガーマッドは中国において日本進出にあたっての信頼性の高い情報・相談窓口となっているゆえたと見ている」と説明する。

日本の同グループ傘下のCROのタイガライズ(タイガーマッドとアクセライスの合併会社)が癌領域に強く、マイクロンがイメージングに強いというところで、両社の親和性が高いことも着

目されている可能性がある。マイクロンは、早期開発段階からインバウンド案件を獲得できれば、主力のイメージングCRO受託も、海外のグローバルCROより先んじて獲得できるのではないかと期待する。

インバウンド案件の受託拡大に向け同社は事業体制を強化している。今後1.5倍程度の増員を図る方針で、モニタリ

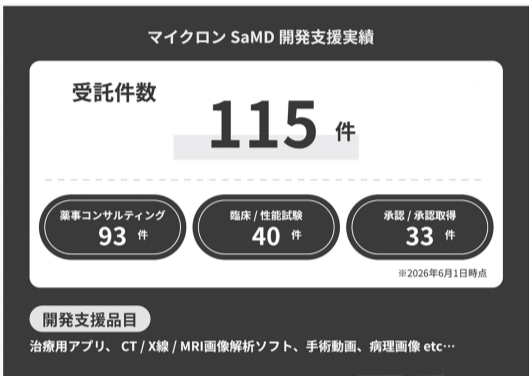
ングや薬事の担当者、中国語を話せるプロジェクトマネージャーの採用を進めている。他方、今年には、中国・アジア治験を希望する日本企業からの受託獲得にも注力する方針だ。タイガーマッドの中国における実績に日本企業名が挙がっているという。そして市場拡大する中国・アジア地域では開発も活発化し、需要が増える見えて、医薬品、医療機器、フェーズを問わず全方位で案件獲得に、日本のグループを挙げて取り組む方針だ。

そのほか、これまでも注力してきた医療機器プログラム(SaMD)の開発・製造販売支援事業について、は、一時の勢いは落ち着いたものの、国内外のベンチャーからの問い合わせが多い状態が続いているという。4月に

同社は、ITシステム開発のフォーカスシステムズと鳥取大学との3者で、褥瘡(床ずれ)評価を支援するAIソフトウェアの共同開発に向けた基本合意書を締結した。一定の知識や経験が求められ、現場では評価のバラツキが指摘されている褥瘡評価の一貫性を確保し、医療従事者の評価・記録業務の効率化を図るツールとして実用化を目指す。

同社のSaMD開発支援の受託案件も増加しており、受託実績は115件。そのうち認証/承認は33件による。同社は、SaMDには社会実装化に課題があるとして、先進医療制度を活用した実装化を進める取り組みにも着手し、2人の担当者

を配置した。一連の取り組みについて大平氏は「タイガーマッドグループ入りしたことでグローバル需要に応える体制、オペレーションを進めていく。一方、イメージングCROやSaMD開発支援も当社のユニークなサービスとして継続していく」と話している。



## マイクロンの新しい価値を、ここから。



VISIT WEBSITE  
<https://microncro.com>

### イメージング

イメージングCROサービスをグローバルに展開。豊富な専門知識と多様な画像モダリティでの経験を活かし、設計から運用まで一貫して支援します。

### セラノスティクス

セラノスティクス領域における放射性医薬品開発を製造から臨床、画像評価まで一貫して支援。開発全体を効率的かつ高い信頼性で推進します。

### SaMD

AI・機械学習を活用したプログラム医療機器開発を支援。要件定義から認証/承認申請まで、専門チームが伴走します。

### 臨床開発

試験の立案から進捗管理までを包括的に支援。品質とスピードの両立を図りながら確実な試験運用を実現します。



株式会社マイクロン  
詳しくはホームページをご覧ください